

光政寺だより

樹 榮

第184号

編集・発行
〒720-0041
福山市寺町2-15
日蓮宗樹榮山
光政寺

TEL084-922-6207
メールアドレス
koshoji@way.ocn.ne.jp

お墓そうじの会 八力大明神例祭

9月11日(日)

そうじ 午前7時~

例祭 午前7時半~

八力大明神は光政寺と檀信徒の守護の神さまです。お墓掃除ののち、八力さんのお力をお借りして、お線香をたき上げます。ご参詣を待ち申し上げます。

お線香寄付のお願い

さん余寺においでいただきありがとうございます。檀香が「お線香の下出しがたくありません。お線香の寄付は、毎日の生活に活用させていただきます。

秋のお彼岸法要

9月23日(秋分の日)

光政寺

午前10時~11時

感染対策のため一方通行とし、すぐに焼香し塔婆を受けていただきます

暑さ寒さも彼岸まで

昔から人は良く言ったもので、夏が過ぎ、涼しくなると「秋の彼岸」がやってきます。

お彼岸の一週間は、先祖を敬い、亡き人に供養をささげるとともに、善根を積み仏道に精進する大切な日々です。迷う心を心身清浄にする

一週間です。是非お題目を唱えて心を磨きましょ。

卒塔婆供養

新規の方は

お早めに

卒塔婆供養は、卒塔婆(板塔婆)を年回忌法要やお彼岸法要、お盆などの時期に、お墓の後ろに立てることをいいます。

卒塔婆は、五重塔から五輪塔に変わり、五輪塔を簡略化したものが現在のような板塔婆です。

従来よりご依頼の方々は、お書きする塔婆の本数を書いた紙片を同封していただきます。

新たに卒塔婆をお申し込みの方は、早目にご連絡頂ければ幸いです。



コロナ禍の

お棚経とお彼岸

8月に入り新型コロナウイルス感染症拡大が続く、福山市内も大変厳しい状況です。

お盆の棚経には、住職他僧侶は、3~4度のワクチン接種を済ませ、毎朝体温

光政寺の戦後復興

先代住職は、本堂再建委員会の解散に当たり昭和37(1962)年11月25日付け文書で「仏像、仏具の整備のほか、参道築造・植樹等境内整備など復興事業は枚挙にいとまなく、引き続き絶大なるご支援を」とお願いしています。

昭和39(1964)年12月、一、参道設置ならびに本堂西側墓地の排水工事、境内排水工事

二、本堂タタミ替え
三、炊事場、ふろ場の改築
四、その他
これらの事業のため、工事費約壹百万円の勸募の依頼をしています。百57世帯より千円~20万円まで合計百49万5千円の喜捨をいただき、完成を見ました。

境内・墓地の水はけ事業は、参道敷設前に取り組む必要があります。このほか大きな工事となりました。

住職・副住職 転居

六月末より、副住職下井泰晃家族が光政寺庫裡に入居いたしました。住職夫妻は隣家と賃貸借契約し、法務に引き続き務めます。

下井泰晃はこれまで通り土日・祭日のみの法務となります。妻慶子は、事務仕事や清掃、ご来客対応などを担います。不行き届きの部分も多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

